

クレジットカードが不正に使われたため、利用を停止したにもかかわらず、請求が続くという相談が増えています。

【事例】

クレジットカードの利用明細を見て、覚えのない請求があることに気が付いた。カード会社に問い合わせ、クレジットカードの利用停止と再発行を行った。しかし、その後も利用停止したはずのカードに請求があり、継続して不正利用されている。カード会社は請求を取り消してくれるようだが、現状では不正利用は止められないとのことだった。

以前、メールで案内が届いた新幹線の予約アプリを利用する際に、クレジットカード番号などの個人情報を入力したことがあったので、そのときにカード情報が流出したのかもしれない。

アドバイス

- 一定額(1万円)以下の利用の場合、カード会社のシステム上、利用停止したカードでも決済ができてしまう場合があります。クレジットカードの利用明細は定期的に確認し、不正利用に気が付いたら、すぐにカード会社に相談しましょう。
- クレジットカードの不正利用のきっかけの多くは、フィッシングメールによるものです。フィッシングメールは、通販サイトやクレジットカード会社などの実在



する企業などをかたって「支払い方法に問題がある」「アカウントで異常な動作が確認された」などといったメールやSMS(ショートメッセージサービス)を送信して不安をあおり、アカウントのIDやパスワード、クレジットカード番号などの個人情報を盗みます。怪しいメールのリンクにアクセスしてはいけません。アプリも公式ストアから入手しましょう。

- 不安に思った場合や、トラブルになったときは消費者ホットライン(☎188)や消費生活センターに相談してください。

岡旭市消費生活センター(☎63-7272)・相談直通電話(☎62-8019)